

がんばれ長野！穂保地区



ご協力に感謝！義捐金 47,270 円を長野市立東北中学校に届けてきました。

台風 19 号によって甚大な被害が出た長野県穂保地区。生徒、保護者、職員から提供された義捐金を穂保にある東北中学校に届けてきました。校長先生から、「温かいご支援に感謝します。生徒さんたちによろしくお伝えください」と、感謝の電話がありました。(校長)

発行所
岡崎市立葵中学校
(電話 21-0171)
(FAX 21-0172)

11月号

ゴが目飛び込んできた。私たちは、WKさんの家の砂出しと、側溝に流れ込んだ泥の撤去を行い、あつという間の5時間を過ごした。

そして、ゴールの見えない復興への道のりを案じつつ、私のなかに確かな危機意識が生まれていた。

「矢作川は大きな川じゃない。安全な川でもない。もし同じだけの雨が降っていたら…」

私たちが活動した場所は、千曲川の決壊現場から100m足らずのところにあった。堤防から見た千曲川

2019. 11. 29

*立ち上がれ自分！

逃げろ！

校長 都筑 祐一

千曲川の清らかな流れと、美しい紅葉。そして、赤や黄に彩られたリノゴ畑。

今年も長野市穂保地区は、秋色の美しい季節を迎えるはずだった。しかし、10月12日。大風19号がすべてを一瞬にして奪い去った。

去る11月4日、私は本校職員ら10人で、穂保地区の復興ボランティア活動に参加した。泥に埋もれた家屋は痛々しく、道行くところ、あちらこちらに転げ落ちた泥まみれのリン

「想定にとられるな」

「最善を尽くせ」

「率先避難者たれ」

つまり、迫り来る危険を自ら想像し、自ら率先して避難することだ。

災害から命を守るキーワードは、何といても「逃げろ！」である。

の川幅は矢作川の優に3倍。その大きさに圧倒された。

調べてみると、千曲川は新潟県に入ると信濃川と呼ばれ、全長367[＊]で全国1位。一方、矢作川は全長118[＊]で全国34位。スケールの大きさが圧倒されている。その千曲川が切れた。そして死者も出た。

改めて、岡崎市が作成した逃げどきマップを開けてみた。矢作川や乙川、伊賀川が切れたらどうなるのか。そして土砂崩れの危険はどこにあるのか。私なりに被災した学区の姿が頭の中で映像になった。

被災したWKさんは、千曲川の危険水位を察知して、直ちに避難所に身を寄せ、難を逃れた。置いてきた2匹の猫も2階に垂直避難して無事。

「家は取り壊すことになるけれど、命があっただけでもよかった」

と話してくれた。

東日本大震災で釜石の奇跡を生んだ片田教授は、想定外を生き抜く力としてこんな言葉を残している。



令和元年度文化祭

ゆめ奏 主役は自分
歌声・笑ひ・感動
ウクウク・ドキドキ・キラキラ

秋晴れの下、十月二日、文化祭を行いました。合唱コンクール、文化部発表、生徒会ステージ、そして作品展示と今年の文化祭も、たくさん生徒の活躍が見られました。

立場が変わって

生徒会

「文化祭、めっちゃおもしろかったな。」

この言葉を聞いて、改めて僕たち生徒会が目指してきた「主役は自分」にふさわしい文化祭ができたかと実感しました。僕は初めての文化祭スタッフを経験して、一つの行事を完成させるために、これだけの人の協力と時間が必要ということを知り、成功させる難しさを感じました。だからこそ、「おもしろかった。」「楽しかった。」の言葉をもたらしたときは、本当にうれしかったです。

どんなことにも、いろいろな人が携わっていることを忘れずに、感謝の気持ちをもって、これからも過ごしていきたいです。

やりきった吹奏楽ステージ

吹奏楽部部长



文化祭に向けての練習は、時間がなく、合奏する時間もあまりなくて焦りや不安でいっぱいでした。でも、みんなで集中して練習に取り組んできたことから、みんなの「あきらめないぞ」という気持ちが伝わってきました。そして迎えた本番。緊張と不安の中でしたが、これまで練習した成果を出し、素敵な演奏を届けることができました。

これからも、あきらめずに、そして楽しんで頑張っていきたいです。

集大成

芸術部部长

私たち芸術部は、夏休み以前から油絵や階段アート、先生方の似顔絵の制作に取り組んできました。特に三年生にとっては、三年間の集大成である文化祭での似顔絵当てクイズで、全校が盛り上がりてくれたこ



とがともうれしかったです。

ほかにも、文化祭で展示する油絵や階段アートがなかなか上手に描けなかったり、デザインに悩んだりしたこともありました。でも、文化祭当日では、部員一人一人が素敵な絵を展示することができ、本当によかったです。

新しい挑戦

メディア部部长

私たちは文化祭に向けて学級紹介づくりをしてきました。分からないところは友達に相談したり、先輩に聞いて進めてきました。一学期から作り始め、じっくり取り組んできたので、スライドをつくる技術が身に付いたと思います。

そして、文化祭の発表では、昨年と違うことに挑戦しました。P検の三択クイズは、全校の皆さんにP検を知ってもらおうと思い、作りました。初めての試みは、大変なこともあるけれど、自分の成長につながると思いました。

強敵・十八連風船!

科学技術部部长

今年の実験のテーマは「空気之力」でした。皆さん、楽しんでいただけましたか。僕たちはこの文化祭に向け、九



月から準備を進めてきました。しかし、文化祭一週間前には、当部の活動のメインであるロボットコンテストがあり、準備は時間との闘いでした。我々を最も苦しめたのが十八連の風船で、繋いだ端から次々割れるため、準備から本番まで一瞬たりとも気が抜けませんでした。しかし、一年生の活躍もあり、空気砲も含め無事に実験を成功させることができました。来年の科技部にも乞うご期待!

合唱コンクールの結果

♪一年生の部

- 最優秀賞 一組「COSMOS」
- 優秀賞 八組「地球の鼓動」
- 優良賞 四組「僕らの奇跡」
- 指揮者賞
- 伴奏者賞

♪二年生の部

- 最優秀賞 五組「心の瞳」
- 優秀賞 四組「生きている証」
- 優良賞 六組「時の旅人」
- 指揮者賞
- 伴奏者賞

♪三年生の部

- 最優秀賞 一組「ひとつの朝」
- 優秀賞 五組「リフレイン」
- 優良賞 二組「走る川」
- 指揮者賞
- 伴奏者賞

みんなでつかんだ最優秀賞

一年一組



私たちの合唱曲『COSMOS』は、星がきらきら輝く宇宙の歌です。最初は、音程が取れなかったり、どんな宇宙を歌声で表現するか分からなかったり、みんなばらばら

に歌っているように感じました。そんな中、毎日繰り返し音取りや強弱を意識した練習を行い、少しずつきれいなハーモニーになってきました。また、どんな宇宙を表現するのか知るために絵を描いたり、プラネタリウムで星空を見たりしました。本番では、一つにまとまり、最高の『COSMOS』を歌うことができました。絆がさらに深まったと思います。

みんなでとった最優秀賞！

二年五組

合唱曲が『心の瞳』に決まったとき、この曲をきれいに合わせることができると不安でした。パート練習が始まると、なかなか音程が取れなかったり、自信がなくて声が小さい人がいたりしました。先生に言われた「言葉を大切にすること」をみんなで意識して、練習を重ねるうちに、ハーモニーがきれいと言ってもらえるようになりました。

本番、私は指揮者として強弱を分かりやすく伝えられるように心がけました。

クラスみんなで作りに上げた合唱で、最優秀賞をとれたのでとてもうれしかったです。

中学校最後の合唱コンクール

三年一組

中学校最後の合唱コンクールで絶対に最優秀賞をとりたい。そんな思いで僕たちは練習をしてきました。パート練習では、音取りから始まり、次第にお互い見合いながらアドバイスをし合うなど、自分たちで練習の質を高めていきました。

文化祭当日。クラスでいつも通り「がんばるぞー」の掛け声で気合いを入れて臨んだ本番。



これだけ練習してきたのだから、きつといい歌が歌えると自信をもって歌うことができました。結果は三年一組「最優秀賞」。結果以上に、こ

のクラスの仲間と一緒に「ひとつの朝」を歌えたことが、何よりの思い出となりました。

最高の文化祭

開発三年

合唱コンクールの思い出は、本番で緊張したけれど、自分の声で歌うことができたことです。三年間最優秀賞をとれなくて悔しかったけれど、友達と仲良く歌うことができても楽しかったです。ギンナンプロ

ジェクトでは、ギンナンを拾って、ひとつずつ

洗うのがとても大変でした。袋詰めるときは落とさないようにていねいに作業しました。ギンナンとシクラメンが全部売れてうれしかったです。来年もがんばってくれたいと思います。

生徒会ステージ

楽しかった生徒会ステージ

二年六組

僕は一年生の時から、生徒会ステージに出てみたいと思っていました。先輩たちのかっこいい姿を見て、僕もあんな風になりたいと思ひ、親友と一緒にオーディションを受けることを決めました。出るからにはみんなを楽

しませたい。文化祭を自分たちの手で盛り上げたいと思ひ、二人で一生懸命練習をしました。本番はとても緊張しましたが、

多くの人が盛り上がりってくれたのでとてもうれしく、よい思い出になりました。応援してくれた方々に本当に感謝しています。ありがとうございました。

出てよかった生徒会ステージ

三年五組

私が生徒会ステージに立とうと思つた理由はヴァイオリンの魅力を知ってもらいたかったからです。また、中学校生活最後の文化祭で私も全校の皆さんの前に立って盛り上げたいなと思ったからです。

最初の練習では三人ともばらばらで全然一つになりませんでした。でも一人一人が努力をし、本番が近づくとつれて緊張感が増していき、成功させたという気持ちが強くなっていきました。本番では主役になった気分が本当に楽しかったです。最後の文化祭は忘れられない思い出になりました。

教育講演会Ⅱ

「オンリーワン」はスペシャル

十一月十一日、俳優・タレントの副島 淳さんをお招きし、教育講演会を行いました。自身の生い立ちをもとに、人生において、大切なものは何かという話を話していただきました。



ポジティブに生きる

一年七組

副島さんは、小中学校時代に家庭内暴力やいじめなどで、大変だったにもかかわらず、そのいじめの原因であるデジタルを逆手にとって、前向きにとらえていて、すごいなと思いました。僕は、サッカーをしています。壁にぶち当たることがたくさんありますが、副島さんのようにポジティブに考えて、その壁を越えていくにはどうしたら良いかを考えたいです。そして、将来は得意な英語を生かした職業に就き、オンリーワンでスペシャルな人になる努力をしようと思いました。副島さんの逆転の発想が勉強になりました。

何事も前向きに

二年一組

肌の色が白い人、黒い人、背が高い人、低い人、いろんな人がいるけれど、

人と違うことは、その人の個性であって自分の武器になる。私は今まで、人と違うことは、恥ずかしいし、嫌だと思っていたけれど、講演会で、もっと自信をもとうと思いました。お話を聞いて、どんな辛くて苦しいことがあっても、前を向いてポジティブに生きるということが大切だと感じました。これからは、副島さんのように、いろいろな人と関わって、たくさんコミュニケーションをとっていかうと思います。とても素敵な話をきくことができ、本当によかったです。

自分は自分らしく

三年六組

副島さんの話を聞き、自分がつらいと思ってきたことは、たいしたことではないと思えました。つらいことや人と違うことをポジティブにとらえることは簡単なことではないけど、人生を変えることもあるのだと思いました。僕は今、怪我で思うようにサッカーや駅伝が出来ず悩んで辞めたいとか、逃げたいと思うこともあります。でも、逃げずに努力することで得ることもあると改めて思いました。副島さんのようにつらいことから逃げずマイナスなこともプラスにして捉え、自分らしく自分の人生を歩んでいきたいと思えます。

表彰の記録



西三新人陸上大会
女子砲丸投

二位

西三新人柔道大会

男子団体

西三駅伝大会

男子

駅伝部

女子

駅伝部

男子

オータムカップ

バレー部

防火作品展

ポスターの部

習字の部

理科作品展

社会科作品展

三位

二位

七位

三位

二位

二位

二位

二位

二位

二位

二位

二位

二位

二位

二位

二位

十二月の予定



二日(月)

九日(月)

一日(水)

二日(木)

三日(金)

六日(月)

七日(火)

八日(水)

一九日(木)

二〇日(金)

二三日(月)

四日(火)

全校集会・生徒議会

生徒集会・あおいMAX II

いじめに関する人権集会

保護者会一日目

保護者会二日目

保護者会三日目

生徒議会

長距離走大会(校内)

(給食なし・弁当持参)

午後・大掃除

長距離走大会予備日

(給食なし・弁当持参)

ひまわりP

給食終了

終業式

冬休み(一月六日)

葵が丘



自己肯定感

校務補佐 奥脇 弓子

日本人は「自己肯定感」が低いといろんなメディアで目にする。私自身も自己肯定感をもてないタイプの中学生だったように思う。しかし二十代前半でミュージカルと出合っ変わって。歌詞やセリフに思いをのせて、私ではない人を演じる。自分の心の中を覗かれることに抵抗があり、なかなか演じることができない。演出家から次々に厳しい言葉を浴びる。悩みながらも、そんなことを三公演ほど続けると、ふとあるときから「良いところも悪いところも含めて自分自身なんだ。こんな自分って結構好きかも。」と思えるようになった。そして芝居も、あながままの自分をさらけ出すことを恐れなくなつた。生きることが楽になつた気がした。

今年度も文化祭では、生き生きとした生徒たちの姿を目にすることができた。一生懸命な姿は本当に心を動かされる。はじける笑顔には、それだけで力がある。それでも悩み多き中学生である。それぞれがいろんな思いをもって当日を迎えている。人に相談したり、自分で解決したり、ストレスに対処したりして壁を乗り越えている。そんな姿を見ながら「あなたはあなたのままで十分素晴らしい。」と伝えたくてたまらない。

「自己肯定感」を高める方法はある。大人も子どもも関係ない。多くの人が「自己肯定感」を高め、他人ではなく「自己軸」で自分の人生を生きていけるといいなと、若輩者の私が生意気ながら感じた。